

なかのやま

中野山遺跡 第7次 (No, 1)

所在地 : 四日市市北山町字中野山

遺跡への経路 : 車で…東名阪道四日市東 IC 出口を左折し、県道 64 号を西進、あさけが丘の手前を右折し、下野橋を渡ってください。そのまま直進した丘陵上の東洋ゴム工場南西側に調査現場があります。(なお、道路建設現場のため普段はフェンスを閉めています。)

鉄道で…三岐鉄道山城駅下車約 2.5 km (徒歩約 30 分)

位置情報 URL : <http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&ll=35.047974537037035,136.58725141242937>

調査の種類 : 本調査

調査原因 : 国道 475 号東海環状自動車道建設事業

調査面積 : 4,400 m²

見頃 : 11 月上旬ごろ

竪穴住居を発見！！掘削が進んでいます。

中野山遺跡第7次発掘調査は、盆明けの8月末から始まりました。それから早約2ヶ月が過ぎましたが、現在のところ古墳時代後期～奈良時代(今から約1,500～1,300年前)の竪穴住居7棟・掘立柱建物1棟・掘立柱列1列、溝・土坑・ピットが多数見つかっています。



竪穴住居の調査状況写真



竪穴住居(焼失した住居か?)の全景写真

上の写真は、見つかった竪穴住居の写真です。竪穴住居は、正方形に近い四角形のかたちをしています。住居の中に「十」字に土が残っている部分(←の部分)は、土層観察用のアゼです。このアゼで土を観察しながら、慎重に掘削を進めていきます。右上写真の住居からは、住居の材料となっていたと考えられる木材が炭化した状態で出土しました。何らかの原因(火事等)で焼失してしまった住居の可能性が考えられます。この住居からは、その他に須恵器(すえき)の坏身(つきみ)や土師器(はじき)の甕(かめ)などが出土しています。今後の調査の進展にご期待ください。

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課(四日市整理所)

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号:059-363-3196(東海環状担当)／ファックス:059-363-3196

E-mail:maibun@pref.mie.jp

担当:穂積 裕昌・渡辺 和仁